

infobiologist: 第二回研究集会 @ 遺伝研

生物学者による情報処理技術研究会 (infobiologist) は、ソフトウェアの入手やシステムの組み方から個別の解析に必要なプログラムの書き方まで、計算機が専門ではない生物学者が相互に支援を行うための集まりです。

今回の交流会では、使えると有用なのはわかっているが、独りでとりかかるとはちょっと敷居が高いかも... といったツールや環境の紹介を、導入と基本動作の実演を含めた実践的なかたちで達人が伝授します。

基調講演には生物の研究者がコンピュータをどう利用すればいいのか、実際に計算機を使って仕事をされている生物学者である佐藤直樹先生にご講演いただきます。

Open source spirit

... The basic principle is to involve as many people as possible in writing and debugging code, by publishing the source code and encouraging the formation of a large community of developers who will submit modifications and enhancements.

Community efforts such as BSD, Linux, Sendmail, Apache, and Perl embody the spirit and power of the open source model.

(<http://developer.apple.com/darwin/ps-faq.html>)

infoblogist

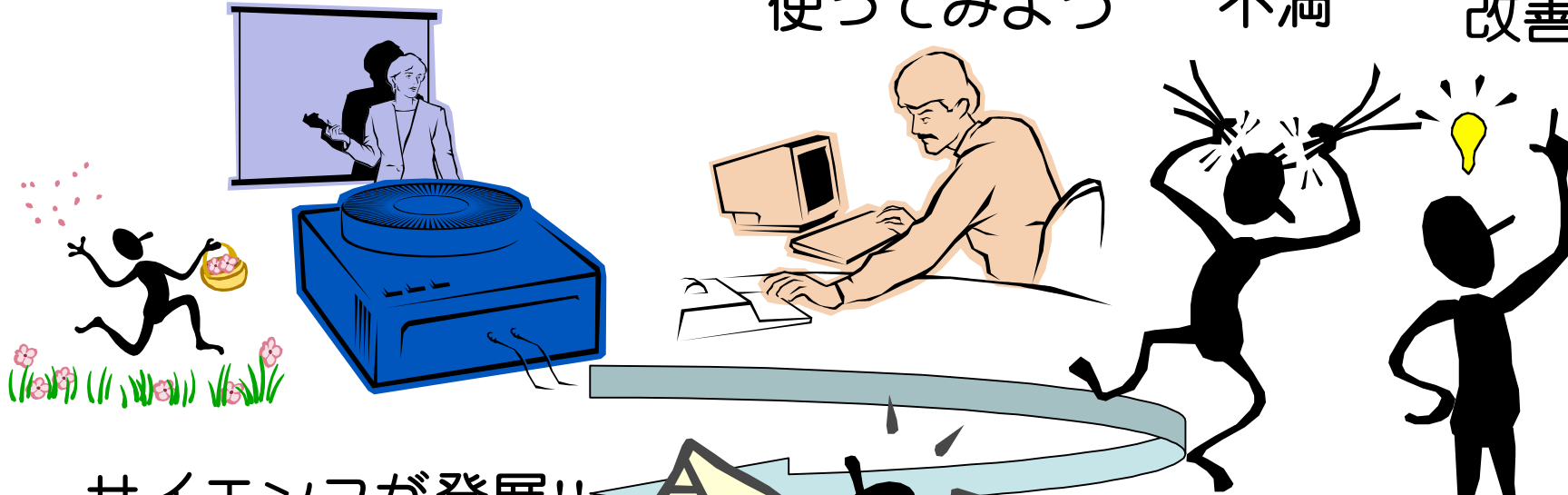
なんのために？

紹介...

使ってみよう

不満

改善案



サイエンスが発展!!



改善される!



フィードバック・
改良に参加

infobiologist

<http://www.kazusa.or.jp/meeting/infobio2003a/>

Thanks to

- 講演を引き受けてくださった講師のみなさん
- 準備と受付を手伝ってくれた入口さん、小原さん、中山さん
- 遺伝研側で準備をすすめてくださった系統情報研究室の山崎さん、矢野さん、分子遺伝研究部門の藤田さん

ありがとうございました!

進行について

- 45分講演
 - 1鈴 35分 そろそろまとめに入りましょう
 - 2鈴 40分 終わって討論に入りましょう
 - 3鈴 45分 討論も終わり。後はミキサーで
- 15分講演
 - 1鈴 10分
 - 2鈴 12分
 - 3鈴 15分